

管内月間火山概況（平成26年9月）

仙台管区気象台
火山監視・情報センター

噴火警報及び噴火予報の発表状況（9月30日現在）

警報・予報	噴火警戒レベル 及びキーワード	該当火山
噴火予報	レベル1（平常）	秋田焼山、岩手山、秋田駒ヶ岳、吾妻山、安達太良山、磐梯山
	平常	恐山、岩木山、八甲田山、十和田、八幡平、鳥海山、栗駒山、 鳴子、肘折、蔵王山、沼沢、燧ヶ岳

各火山の活動状況及び予報警報事項

主な火山の活動及び予報事項の状況は以下のとおりで、予報事項に変更はありません。

岩木山〔噴火予報（平常）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

八甲田山〔噴火予報（平常）〕

「平成23年（2011年）東北地方太平洋沖地震」以降増加していた八甲田山周辺の地震は、2014年2月頃から減少し、今期間も少ない状況で経過しました。2013年4月から7月にかけて増加した大岳山頂直下の地震活動も低調に経過しました。

噴気活動や地殻変動の状況にも特段の変化は認められませんが、大岳山頂直下の地震活動は低調ながら継続していることから、今後の火山活動の推移に注意してください。

秋田焼山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、平常）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

岩手山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、平常）〕

火山活動は低調に経過しました。火山性地震が一時的に増加することもあります。その他の火山活動に変化はなく、噴火の兆候は認められません。

秋田駒ヶ岳〔噴火予報（噴火警戒レベル1、平常）〕

火山性地震は少ない状況で経過しました。地殻変動にも変化はみられず、ただちに噴火する兆候は認められませんが、^{めだけ}女岳では噴気や地熱域が引き続き確認されていることから、今後の火山活動の推移に注意してください。

鳥海山〔噴火予報（平常）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

栗駒山〔噴火予報（平常）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。



蔵王山〔噴火予報（平常）〕

火山性微動が2回発生しました。

今期間、火山性地震は少ない状況で経過し、御釜の状況にも特段の変化はみられません。

8月以降地震活動の高まりがみられますので、今後の火山活動の推移に注意してください。

吾妻山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、平常）〕

大穴火口の噴気活動はやや活発な状態が続いています。火山性地震は少ない状況で経過し、火山性微動も観測されませんでした。ただちに噴火する兆候は認められませんが、火口等では火山ガスの噴出が引き続きみられますので警戒してください。また、大穴火口の風下側でも火山ガスに注意してください。

安達太良山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、平常）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

磐梯山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、平常）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

上記以外の火山の活動状況に特段の変化はなく、予報事項に変更はありません。

※噴火警戒レベルは、地域防災計画等でその活用が定められている火山で運用しています。

この管内月間火山概況は、仙台管区気象台のホームページ（<http://www.jma-net.go.jp/sendai/>）や、気象庁ホームページ（<http://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/volcano.html>）でも閲覧することができます。

次回の管内月間火山概況（平成26年10月分）は平成26年11月11日に発表する予定です。

この資料は気象庁のほか、国土交通省東北地方整備局、国土地理院、東北大学、弘前大学、独立行政法人防災科学技術研究所及び青森県のデータも利用して作成しています。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図25000（行政界・海岸線）』を使用しています（承認番号 平23情使、第467号）。